

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470300714	事業の開始年月日	平成17年8月1日
		指定年月日	平成17年8月1日
法人名	有限会社賀茂家旅館		
事業所名	グループホームかもや		
所在地	(220-0053) 横浜市西区藤棚町2-178 ケアホーム賀茂家2F・3F		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成24年1月15日	評価結果 市町村受理日	平成24年4月20日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1470300714&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

歩いてすぐの所に下町的な雰囲気大切にアットホームな商店街があり、毎日利用者と共に買い物に出掛けております。また、季節折々の外出レクリエーションやホーム内の行事などを積極的に行い楽しみある生活を支援しております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成24年2月17日	評価機関 評価決定日	平成24年3月22日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は相鉄線西横浜駅から徒歩で10分程度の所にあります。下町的な商店街がすぐ近くにあり、街中のホームといった感じです。利用者がその日の食事で食べたいものを求めて午前、午後とよく買い物に出かけています。職員はいつも笑顔で心掛けています。和やかな雰囲気の中での利用者の明るい表情が印象的です。

<優れている点>

利用者の個々の自立を促し、喜びや張り合いのある生活を送ることができるように支援することを理念に掲げています。職員は利用者第一主義やコミュニケーションの向上などの自己目標を設定し、半期ごとに自己評価と上司評価を行い、サービス改善の課題を定め次の目標に反映しています。職員は理念に沿ったサービス支援の実践を心掛け、利用者一人ひとりがそれぞれの思いを大切に生活を送れるように支援し、毎日の生活を見守っています。

<工夫点>

利用者支援に関する職員間の情報共有の仕組みを整備しています。タッチ方式の簡単操作で職員は日常の利用者の生活情報をPCに直接入力しています。何時に買い物行き、その時の利用者の表情や会話の状況はどうだったかなどを入力します。また、食事や排泄等の支援内容を職員が適宜入力します。毎日出勤時に必ず職員はPCに目を通し、利用者の状況や申し送り情報を確認しています。利用者一人ひとりに対する情報共有の仕組みが利用者の安心感に繋がっています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームかもや
ユニット名	あさがお

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日々のケアの中、地域での利用者の豊かな経験から学んだ事を伝え合い、共有し、実践に努めている。	利用者が喜びや張合いのある生活を送れるように、個々の自立支援を理念に謳い、玄関等に掲示し職員に周知しています。職員は半期ごとの目標管理に利用者第一主義の課題を掲げ、自己と上司双方の実績評価を通して理念の実践に努めています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入の他、地域子供会への協力も積極的に行っている。また、事業所の避難訓練にもご参加を頂いている。	事業所の管理者が自治会に加入し定期的に地域住民との交流を図り、また、地域の子供会に段ボール等の資源を供給したりしています。事業所の避難訓練には地域住民が参加し、事業所との地域連携が深まっています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日課である商店街へ利用者との買い物の際、利用者の様子や、職員との関わりを見て頂く事で、事業所の理解や支援の方法を自然な形で表現出来ている。又、定期的に発行している事業所だより『かもや通信』を自治会を通じて回覧されている。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度の運営推進会議の中、要望や助言は勿論のこと、第三者的な意見は視点の違った面からその意見を活かして向上に繋げている。	自治会代表や民生委員、地域包括支援センター職員及び利用者、家族代表等が出席し、2ヶ月ごとに運営推進会議を開催しています。会議では事業所の運営方針を説明し、地域行事への参加等を話し合い、事業所に対する地域の理解に努めています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区役所内の会議室を提供して頂き、区内4ヶ所のグループホーム管理者全員と行政との情報交換会を行った。	横浜市グループホーム連絡会に参加し、定期的な交流会の開催で、区職員や関係機関との情報交換を図っています。連絡会主催の各種研修に積極的に参加しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の勉強会を行い再度理解を深めた。夜間以外は施錠は行わず、日中はセキュリティの面から、玄関ドアに開閉時に鳴るチャイムを設置している。	カンファレンスで身体拘束廃止の意識を職員に徹底しています。車椅子の動きなど日頃のさりげない行動にもは注意し拘束に繋がらないケアに務めています。日中は玄関やフロアの施錠はなく、職員はチャイムで利用者の動きを見守っています。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に積極的に参加し、全職員に対し報告の場を設け、不適切なケアがないか学び、再度振り返り、実践に繋げている。また日頃から言葉や態度について十分に配慮するよう指導している。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用されている利用者があり、管理者は研修等に参加をし理解も深め協力出来ている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約等は管理者が責任を持って行っている。又、各ユニットにご意見箱を設置し気軽な環境を配慮すると共にご家族の面会時には対話を大切にしている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各ユニットに『ご意見箱』設置しており、気軽な環境を配慮すると共にご家族の面会時には対話を大切にしている。	毎月の定期通信で利用者の生活状況や診察の結果などを家族に伝えていきます。職員は常に笑顔を中心掛け、面会で利用者・家族が何でも意見を言えるように配慮しています。薬や体調の変化への対応など家族の意見を尊重した支援を心掛けています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	半期ごとに業務やサービスの目標管理を職員全員が個々に作成し、意見なども取入れ運営改善を図っている。	職員は排泄、入浴等介助現場の状況を半期ごとに自己評価し、上司と面接し個々の利用者へのサービス改善につなげています。利用者の行動特性に配慮し買物や清掃時間を調整するなど、管理者は職員の意見を取り入れた事業運営に努めています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は毎月法人理事会に必ず出席をし、職員代表として意見等を述べ、職場環境の質の向上を図っている。又、職員には業績評価を自己評価として半期ごとに行っている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的にホーム内を巡回し声を掛け確認を行っている。また、研修会の積極的な参加や幹部のOJTも行っている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	定期的に交流があります。職員は10月に3名が保土ヶ谷区のGHと3日間現場交換研修を実施し、気付きやサービス内容等を学び実践に活かしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に必ず面談を実施し、キーパーソンを交えてグループホームでの生活について理解に努めると同時になじみの関係作りにも努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お申込みを頂いてから、専用シートに記入をして頂き、ホームでの対応や方針などを説明した上で、要望などを傾聴している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	自立支援の中で状態観察をしながら、本人が必要としている事を見極める様にしていく。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	買い物や炊事、洗濯など出来る力を見極め、共に行う様に努めている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との面会やが外出外泊は自由に行える様にしている。又、情報交換も行っている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホーム内の生活の中で、会話の中に馴染みの方々や場所など話題を提供し、又傾聴を自然な形で行っています。時には昔の知人と電話でお話をする機会も希望に応じて支援を行っています。	利用者の中には自ら地域の老人会に加入して仲間との交流を図っている方がいます。また、昔の職場の同僚が事業所を訪れる利用者もいます。職員は、昔の仲間の話や想いで話の傾聴を心掛け、利用者の思いを大切にしたい支援に努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同志の相性に配慮し、食事の席を決めている。上手くコミュニケーションの取れない利用者については常に職員が見守り間に入る様にしている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院された場合はお見舞いにお伺いしたり、お電話にてご家族の御相談にのり、経過のフォローに努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話の中や、個人対応となる入浴時にゆっくりと傾聴し、希望などを把握している。困難な場合は日常のさり気無い発語を大切にしている。	センター方式のアセスメントシートを活用し、利用者の心身の特徴や24時間支援情報を明記し、職員間の情報共有を図っています。日常生活での利用者のふとした言動を申し送りノートに書きとめて、利用者の思いに沿った支援を心掛けています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	バックグラウンドアセスメントシートを活用し又、本人の行動に沿って把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェックや介護記録、申し送りを通して状態の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>月/1回のケアカンファレンスにて主治医や看護師の助言、日頃からのサービス実施状況の評価や利用者、家族の意見を自然な形で取り入れ介護計画を作成している。また3ヶ月ごとの見直しも行っている。</p>	<p>利用者の状況に応じ3ヶ月、又は6か月ごとに介護援計画を見直しています。介護計画の実践の成果を3ヶ月ごとに評価し、サービス担当者会議で利用者一人ひとりの課題と対策を検討し、また、医師の意見を尊重し次の介護計画に反映しています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の介護記録のほかに気付きヒヤリハットなど積極的に専用紙に記入している。また職員間で閲覧の上カンファレンスで再検討を行い介護計画の見直しに活用している。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>身体状況などの変化や悪化については主治医や看護師の医療連携が柔軟に行われている。事前に予定のある専門医の外来受診は職員が同行し対応している。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>日常生活における、散歩や買い物で地域とのふれあいが出来、支援に努めている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回往診医による診察をホーム内で行っており、必要に応じて利用者ご家族に同意のもと専門医に受診している。</p>	<p>内科医は月に2回往診し、歯科医が随時往診し利用者の治療に当たっています。利用者全員の主治医として協力医が診ていますが、随時整形外科や皮膚科等の利用者の受診の要望に応じています。職員に看護師もおり支援しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師との情報交換は利用者一人一人に対し気持ち良く適切に行えている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には利用者の情報提供を口頭でお伝えする他、介護サマリーもお渡ししている。また定期的に病院にお伺いし入院中の経過や退院後の注意事項を確認している。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所で定めた指針について入居時及び入居相談を受けた時点で説明を行っている。状況に応じて方針を定め、ご家族等のご意見も取り入れながら主治医、看護師、薬剤師と多様な専門職との共有を図り、チームとしての支援体制が整っている。	「重度化した場合における対応に係る指針」を入居時利用者・家族に説明し、医師や看護師及び医療機関との連携体制を整備しています。終末期ケアの経験はありませんが、医療連携体制加算を取得しいつでも対応できる体制を整えています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルがあり全職員意識が整っている。又、管理者を通じて主治医や看護師の指示や相談が24時間受けられる体制にある。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回（4月・10月）夜間を想定とした地域住民参加型の避難訓練を実施している。	毎年4月と10月に避難訓練を実施しています。前回10月の訓練は夜間を想定し、避難経路の確認等を目標に利用者全員が参加して行いました。一人の夜勤職員の車椅子利用者の誘導の困難性が指摘され、次回の訓練の課題となっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	異性介助に抵抗のある利用者には必ず同性介助を行っている。又、日頃から一人ひとりの同調した言葉かけを行う様に配慮している。	平成23年9月にプライバシー尊重に関する研修に参加し、職員に注意を喚起しています。入浴やトイレ介助では利用者の希望に応じ同性介助を実施し、また、言葉かけが指示的にならないように注意し、プライドを傷つけないようにしています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者本人が自己決定出来る様、気持ちを受け止め、安心感を促す様にしている。又、その時、その場面の行動をそっと見守るなど把握に努めている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の状態に応じて個々のペースに合わせている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自身で好みの衣類を着ており、身だしなみはさりげなく職員が対応し季節に合った衣服かを支援している。又、ホーム内で美容師資格のある職員が利用者の希望によるヘアカットも行っている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	意欲を大切に安全に準備や配膳、片づけを共に行っており、好みも把握している。また食事が美味しく召し上げられる様、食事前に嚙下体操を取り入れられている。	出来る方には、ランチョンマットを敷いたり、食器洗いを手伝ってもらっています。希望により、刻み食、ソフト食を提供しています。食事前には嚙下体操や、童謡を歌っています。誕生会は利用者の誕生日に合わせてケーキで祝っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分の摂取量は利用者個人別で電子カルテにて把握し記録管理している。嚥下困難など状態に応じて刻み食やゼリー状に工夫をし支援している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後必ず口腔ケアを行っている。義歯は就寝前にお預かり等をして洗浄剤を使用している。又、一部の利用者は、月1回の訪問歯科医による口腔クリーニングを利用している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>電子カルテによる排泄チェック表でパターンの把握を行っている。又、各居室にトイレが設置がしてあり、自立支援に繋げている。</p>	<p>大半の方はトイレが自立しています。一部の方はリハビリパンツですが、夜間だけオムツ使用の方もいます。支援の必要な方には排泄チェック表にてパターンを読み、さりげなく声かけし、トイレ誘導しています。同性介助をしています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>日頃から水分摂取を促したり、毎日の朝食に牛乳やヨーグルトの乳製品を提供している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>曜日や時間帯は特に決めておらず、状態や気分のタイミングを図り声かけをした上で支援をしている。入浴を快適に楽しんで頂く為、全入居者に好みの入浴剤の使用や季節に合わせて菖蒲湯なども活用している。又一部二人介助で行っている。</p>	<p>週2回午前と午後に入浴支援しています。車椅子の方へは2：1で自立の方へは1：1で職員が対応しています。利用者ごとに浴槽の湯は入れ替え、好みの入浴剤を使用してもらったり、季節に合わせてゆず湯、菖蒲湯などもしています。同性介助をしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自由に何時でも居室で休める環境にあり、季節に応じて布団や室温の支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の詳細について事務所にファイリング管理を行い把握に努めている。主治医からの指示で追加や変更があった場合もメールや連絡ノートを活用し速やかに把握出来る様にしている。又、『グループホームにおける内服管理について』の研修に参加した。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で、役割が自然と出来ており、入居者同士がトラブルにならない様に職員が間に入り支援している。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物は午前午後とで悪天候以外は毎日出掛けている。天気の良い日には外気浴や特別な場所へ等はご家族のご協力をして頂き実現への支援をしている。	天気の良い日は買物や外気浴も兼ねて車椅子の方も散歩を支援しています。遠出では赤レンガ倉庫に、初詣に杉山神社へ職員が車で同行しています。墓参りは家族に協力してもらっています。福祉体験学習の中学生が買物の外出支援を体験しています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者本人の希望や力により、自身の財布を持っている方が数名おられるが、『入居者預り金等管理規定』を定めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望に応じて、家族や親類の他、馴染みの知人などに対応や手紙は意欲的に行える様に支援している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日々快適で居心地の良い空間作りを心掛けている。玄関先には観葉植物やお花を置き、毎月々の手作りカレンダーや雛人形、鎧兜、笹の葉、クリスマスツリーなど季節感を目で楽しめる様に工夫している。	夏季は23℃、冬季は27℃、加湿40%以上に空調を設定しています。不快な音や臭いはありません。居間兼食堂は、手作りカレンダー、行事や季節の写真を壁に飾り、大きな食堂テーブルと椅子、ソファ、テレビ、雛人形を設置しています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファや食事をする際のテーブルで気の合った利用者同士が、笑顔で過ごせる様な工夫をしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室入口には各名札をつけ、自身の部屋が分かる様に工夫し、使い慣れた馴染みの家具などを可能な限りお持ち頂いて安心して心地良く生活ができる様にしている。	ホームが用意したクローゼット、洗面台、トイレ、ベッド以外は持ち込み自由です。但し、カーテンは防災機能のあるもので、仏壇は火気厳禁としています。出来る方には、部屋の掃除や仕上がった洗濯物の整理・整頓を職員と一緒にして行っています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者個人の状態を把握し、危険のない様、環境作りと見守りを行い、無理の無い声かけを行い自立支援している。		

事業所名	グループホームかもや
ユニット名	ひまわり

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日々のケアの中、地域での利用者の豊かな経験から学んだ事を伝え合い、共有し、実践に努めている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入の他、地域子供会への協力も積極的に行っている。また、事業所の避難訓練にもご参加を頂いている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日課である商店街へ利用者との買い物の際、利用者の様子や、職員との関わりを見て頂く事で、事業所の理解や支援の方法を自然な形で表現出来ている。又、定期的に発行している事業所だより『かもや通信』を自治会を通じて回覧されている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度の運営推進会議の中、要望や助言は勿論のこと、第三者的な意見は視点の違った面からその意見を活かして向上に繋げている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区役所内の会議室を提供して頂き、区内4ヶ所のグループホーム管理者全員と行政との情報交換会を行った。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の勉強会を行い再度理解を深めた。、夜間以外は施錠は行わず、日中はセキュリティの面から、玄関ドアに開閉時に鳴るチャイムを設置している。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に積極的に参加し、全職員に対し報告の場を設け、不適切なケアがないか学び、再度振り返り、実践に繋げている。また日頃から言葉や態度について十分に配慮するよう指導している。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用されている利用者があり、管理者は研修等に参加をし理解も深め協力出来ている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約等は管理者が責任を持って行っている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各ユニットに『ご意見箱』設置しており、気軽な環境を配慮すると共にご家族の面会時には対話を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	半期ごとに業務やサービスの目標管理を職員全員が個々に作成し、意見なども取入れ運営改善を図っている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は毎月法人理事会に必ず出席をし、職員代表として意見等を述べ、職場環境の質の向上を図っている。又、職員には業績評価を自己評価として半期ごとに行っている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的にホーム内を巡回し声を掛け確認を行っている。また、研修会の積極的な参加や幹部のOJTも行っている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者は横浜GH連絡会のメンバーで定期的に交流があります。職員は10月に3名が中区のGHと3日間現場交換研修を実施し、気付きやサービス内容等を学び実践に活かしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に必ず面談を実施し、キーパーソンを交えてグループホームでの生活について理解に努めると同時になじみの関係作りにも努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お申込みを頂いてから、専用シートに記入をして頂き、ホームでの対応や方針などを説明した上で、要望などを傾聴している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ホームに入居当初は、不安や混乱を招きやすいので、本人が望んでいる事の課題解決につとめている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	買い物や炊事、洗濯など出来る力を見極め、共に行う様に努めている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との面会やが外出外泊は自由に行える様にしている。又、情報交換も行っている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地元の老人会参加や馴染みの美容院に出掛けるなど、関係が継続されている。自宅近隣の知人が頻りに訪ねて来られたりもします。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同志の相性に配慮し、食事の席を決めている。上手くコミュニケーションの取れない利用者については常に職員が見守り間に入る様になっている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院された場合はお見舞いにお伺いしたり、お電話にてご家族の御相談にのり、経過のフォローに努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話の中や、個人対応となる入浴時にゆっくりと傾聴し、希望などを把握している。困難な場合は日常のさり気無い発語を大切にしている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	バックグラウンドアセスメントシートを活用し又、本人の行動に沿って把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェックや介護記録、申し送りを通して状態の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>月/1回のケアカンファレンスにて主治医や看護師の助言、日頃からのサービス実施状況の評価や利用者、家族の意見を自然な形で取り入れ介護計画を作成している。また3ヶ月ごとの見直しも行っている。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の介護記録のほかに気付きヒヤリハットなど積極的に専用紙に記入している。また職員間で閲覧の上カンファレンスで再検討を行い介護計画の見直しに活用している。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族が通院の際に同行する場合で、認知症における介護等が困難な利用者は職員が同行している。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>日常生活における、散歩や買い物で地域とのふれあいが出来、支援に努めている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回往診医による診察をホーム内で行っています。入居前からの掛かりつけ医療機関を継続している利用者もいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師との情報交換は利用者一人一人に対し気持ち良く適切に行っている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には利用者の情報提供を口頭でお伝えする他、介護サマリーもお渡ししている。また定期的に病院にお伺いし入院中の経過や退院後の注意事項を確認している。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所で定めた指針について入居時及び入居相談を受けた時点で説明を行っている。状況に応じて方針を定め、ご家族等のご意見も取り入れながら主治医、看護師、薬剤師と多様な専門職との共有を図り、チームとしての支援体制が整っている。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルがあり全職員意識が整っている。又、管理者を通じて主治医や看護師の指示や相談が24時間受けられる体制にある。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回（4月・10月）夜間を想定とした地域住民参加型の避難訓練を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	異性介助に抵抗のある利用者には必ず同姓介助を行っている。又、日頃から一人ひとりの同調した言葉かけを行う様に配慮している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者本人が自己決定出来る様、気持ちを受け止め、安心感を促す様にして いる。又、その時、その場面の行動を そっと見守るなど把握に努めている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の状態に応じて個々のペースに 合わせている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自身で好みの衣類を着ており、身だしなみはさりげなく職員が対応し季節に合った衣服かを支援している。又、ホーム内で美容師資格のある職員が利用者の希望によるヘアカットも行っている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	意欲を大切に安全に準備や配膳、片づけを共に行っており、好みも把握している。また食事が美味しく召し上げられる様、食事前に嚙下体操を取り入れ いる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分の摂取量は利用者個人別で電子カルテにて把握し記録管理している。嚥下困難など状態に応じてミキサー食やゼリー状に工夫をし支援している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後必ず口腔ケアを行っている。義歯は就寝前にお預かり等をして洗浄剤を使用している。又、一部の利用者は、月1回の訪問歯科医による口腔クリーニングを利用している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>電子カルテによる排泄チェック表でパターンの把握を行っている。又、各居室にトイレが設置がしてあり、自立支援に繋げている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>日頃から水分摂取を促したり、毎日の朝食に牛乳やヨーグルトの乳製品を提供している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>曜日や時間帯は特に決めておらず、状態や気分のタイミングを図り声かけをした上で支援をしている。入浴を快適に楽しんで頂く為、全入居者に好みの入浴剤の使用や季節に合わせて菖蒲湯なども活用している。又一部二人介助で行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自由に何時でも居室で休める環境にあり、季節に応じて布団や室温の支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の詳細について事務所にファイリング管理を行い把握に努めている。主治医からの指示で追加や変更があった場合もメールや連絡ノートを活用し速やかに把握出来る様にしている。又、『グループホームにおける内服管理について』の研修に参加した。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で、役割が自然と出来ており、入居者同士がトラブルにならない様に職員が間に入り支援している。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物は午前午後とで悪天候以外は毎日出掛けている。天気の良い日には外気浴や特別な場所へ等はご家族のご協力をして頂き実現への支援をしている。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者本人の希望や力により、自身の財布を持っている方が数名おられるが、『入居者預り金等管理規定』を定めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望に応じて、家族や親類の他、馴染みの知人などに応対や手紙は意欲的に行える様に支援している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日々快適で居心地の良い空間作りを心掛けている。玄関先には観葉植物やお花を置き、毎月々の手作りカレンダーや雛人形、鎧兜、笹の葉、クリスマスツリーなど季節感を目で楽しめる様に工夫している。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファや食事をする際のテーブルで気の合った利用者同士が、笑顔で過ごせる様な工夫をしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室入口には各名札をつけ、自身の部屋が分かる様に工夫し、使い慣れた馴染みの家具などを可能な限りお持ち頂いて安心して心地良く生活出来る様にしている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者個人の状態を把握し、危険のない様、環境作りと見守りを行い、無理の無い声かけを行い自立支援している。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の研修が不足している。	サービスの向上に繋げ、スキルアップの機会を作る。	外部研修の参加のみならず、事業所内研修を僅かな時間でも実施する。	6ヶ月
2	26	月/1回のカンファレンスは実施しているが、モニタリング表に落とせていない。	ケアプランに添ってモニタリングを実施する。	モニタリング実践記録表(評価表)の作成及び実施する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。